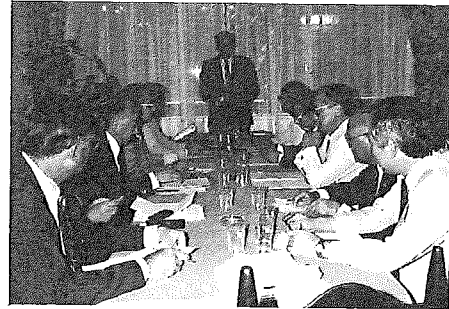


ロータリー アジア親善会議誕生

日本側コーディネーター 大橋 章一

1984年4月、当時の鈴木基一^註PDG主宰により塩原温泉で開催された当地区の年次大会のタウンミーティングで提案され、さらに翌85年、ところも同じ塩原の第4回日比ワークショップでも申し合せ事項として発表された「アジア4ヶ国ロータリー共同委員会」が、「ロータリーアジア親善会議」として去る8月25日、台北における4ヶ国代表準備委員による会議で誕生しました。この台北の会議に先立ち本年3月、板橋PDGも出席された、マニラにおける日本、韓国、フィリピン、台湾の4ヶ国ロータリーの予備的な会合の際でも次年度台湾において第1回会議を開くことに各国委員の意見の一致を見ており、それが今回の準備会議で正式に決定したわけです。組織の名称は今後新たに加盟する国もあると考へ、あえて4ヶ国にこだわらず「ロータリーアジア親善会議」としました。この準備会議に日本から菅野多利雄^註PDR、田口良一PDG(252)それに私、韓国から呉在環PDRと2名のPDG、フィリピンからはアントアコPDGとDGN^註及びPP^註、地元台湾から黄敬^註譽DG、李超然PDGを始め8名出席し、会

場のアンバサダーホテルにおいて8月25日午後2時から規約その他の審議に入りました。マニラの会合で規約(案)を私が作成することになっておりましたので日本語と英文を用意しましたが、殆ど英文をもとに審議され、日本語でスタートした会議も途中から英語による討議となり、司会を仰せ付かった私もいささか慌てた次第です。長時間にわたる協議の結果、規約も全員に承認され、組織の正式名称と第1回親善会議を1989年3月22～23日、台北において開催することに決定しました。会議が終わってから全員が「よかった、おめでとう」と固い握手をしましたが、思えば本当に長い道程でした。このようにしてこれか



会議の冒頭挨拶を行う黄敬^註 第398地区ガバナー

らアジア近隣諸国のロータリーと姉妹クラブ提携や、青少年の交流、また将来実施されるであろう共同のWCSのことなど、今まで以上に友好親善、相互理解と奉仕の輪が広がりアジアロータリーの新時代を迎えることになりました。親善会議の詳しいことは改めてお話しいたしますが、鈴木PDGが蒔いた一つ

ふの種が4年後の今日、見事にその実を結んだことは、地区としてもこのうえない喜びであります。ここに長年の懸案だった「ロータリーアジア親善会議」が発足したことを皆さまにご報告申し上げる次第です。

註 PDG パストガバナー PDR 元理事
DGN ガバナーノミニー PP 元会長